

防災教育支援に関する懇談会 中間とりまとめ (概要)

本懇談会では、防災教育支援について、平成19年4月より検討を重ね、中間的なとりまとめを行ったところ

防災教育支援：防災科学技術の研究成果等を活用しつつ、学校や地域等で行われている防災教育の取組を支援し、社会全体の防災力を高めるための方策

背景

我が国は自然災害が多発(新潟県中越沖地震(H19.7)、能登半島地震(H19.3)など)
安全で安心な社会を実現することは、国の基本的かつ重要な責務

防災教育の目的

「生きる力」を涵養し、
能動的に防災に取り組む人材の育成

防災教育支援の基本的考え方

防災教育で目指す能力(「生きる力」)を育む
防災への自発的・能動的な取組を促す
「災害文化」を再評価・発展・浸透させる

課題

携わる人についての課題

- ・「担い手」「つなぎ手」の不足
- ・教職員等への研修が十分でない

内容についての課題

- ・発達段階を踏まえた学習内容等の整理が必要
- ・素材やコンテンツの共有が不十分

方法についての課題

- ・自ら課題を発見し、調べるなど能動的学習が必要

現状

全国規模での取組

- ・文科省「防災研究成果普及事業」
- ・「地震防災フォーラム」等の実施

地域社会での取組

- ・教育委員会による副読本の作成・活用
- ・学校と地域住民の連携による取組の実践

学校での取組

- ・「総合的な学習の時間」等において、地域等の特徴を活かした取組を実施
- ・地域・通学路等の防災マップづくりの実施

全国・地域社会・学校において取組が行われているが十分ではない

戦略

「担い手」「つなぎ手」の育成

学びの素材・場の提供

「内発的動機付け」「気付き」を促す

防災教育支援モデル地域事業

防災教育支援窓口

防災教育支援地域フォーラム

施策

大学等を中心として、地方公共団体、学校などが連携・協力し防災教育の取組を行う地域(10地域)をモデル地域として選定・支援を行う。

全国の防災教育の事例を一元的に集約し、使いやすいように改良した上で、自由に利活用できる素材・コンテンツ等として発信・提供する

「担い手」「つなぎ手」との接点・交流の場づくり、防災教育の優れた取組・最新の研究成果の紹介により、学校・地域等の取組を促す